令和5年度　第1回全体保護者会
常磐松小学校の教育

常磐松小学校長
加藤　真寿美

教職員の紹介

〇校長・副校長　　〇1～6年担任
〇専科（音楽・図工・算数少人数指導）
〇特別支援教室（ゆずりは）　〇養護教諭
〇講師・特別支援教育担当指導教員・特別支援教室専門員
ALT・スクールカウンセラー・図書館専門員・介助員
支援員
〇事務・栄養職員・用務・スクールサポートスタッフ
〇児童安全管理・学校警備等
＊氏名等は、学校だより4月号を参照

学級数・児童数

〇全学級　6学級

〇全児童数　133名

（男子67名・女子66名）

1年生	27名	4年生	22名
2年生	22名	5年生	29名
3年生	17名	6年生	16名

目指す児童像

全ての児童が
学ぶ楽しさと成長を
実感できる学校

校訓

「健康・勤勉・上品」

教育目標

○挑戦する子
◎つながる子（重点目標）
○働く子

基本方針

3つの柱ー知・徳・体のバランスのとれた育成ー

【知】勤勉・挑戦する子
【徳】上品・つながる子
【体】健康・働く子

【知】自ら学び、「できた」「わかった」「やってみたい」を実感できる学校

○授業を充実させ、一人一人に確かな学力をつける。

新たな学び
【学校DX】デジタルトランスフォーメーション

デジタル技術を活用して、学習の在り方や方法などを変化させていくこと

常磐松スタイル（算数）

1・2年生

もんだい
↓
めあて
↓
さくせん
↓

じっこう
↓
まとめ

3・4・5・6年生

学習問題
↓
学習課題
↓
作戦
↓

実行
↓
まとめ

常磐松スタイル（理科）

①やってみよう
共通体験

②問題
共通体験から問題を設定する。

③予想・仮説
問題に対する答え

④方法
仮説を検証するための方法を考える。

⑤結果
実験の結果＝事実

⑥考察
問題に対する答えになるよう、仮説をもとに考える。

⑦まとめ
科学的用語を　適切に用い、指導者が示す。

⑧活用
学習したことを生かした、ものづくりや体験的活動

⑨学習感想
生活経験に結びつけた感想や次の学習につながるような感想

【徳】 自分も大事、みんなも大事
互いを尊重し合える学校

○信頼関係を基盤とした、
学校風土、学級風土を
構築する。

生活指導の重点

あいさつ

へんじ

ことばづかい

生活指導の重点

はきものをそろえる

はきものをそろえると　心もそろう
心がそろうと　はきものもそろう
ぬぐときに　そろえておくと
はくときに　心がみだれない
だれかが　みだしておいたら
だまって　そろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の人の心も　そろうでしょう

（円福寺　藤本幸邦）

【体】明るく、楽しく、
健康に過ごせる学校

○じょうぶな体とたくましい心を育む環境をつくる。

合同授業・交換授業・異学年活動

担任・学年部・専科

講師・ゆずりは
全教職員

児童にかかわる教員が増える
相談できる教員が増える

全ての児童をすべての教職員で育てる

学校

あいさつ・返事・言葉づかい
基本的な生活習慣
家庭学習習慣

家庭

↓

共通理解と指導の継続

↓

自立・自律した生活　学力の定着・向上

【安心・安全】子供たちの安心・安全を保障できる学校

○危機管理意識を高くもち、様々な視点から安心・安全を守る。

［安全は、優先すべき最重要課題］

【連携】交流活動・体験活動の推進

○様々な人との関わりや
体験から学び、
成長につなげる。

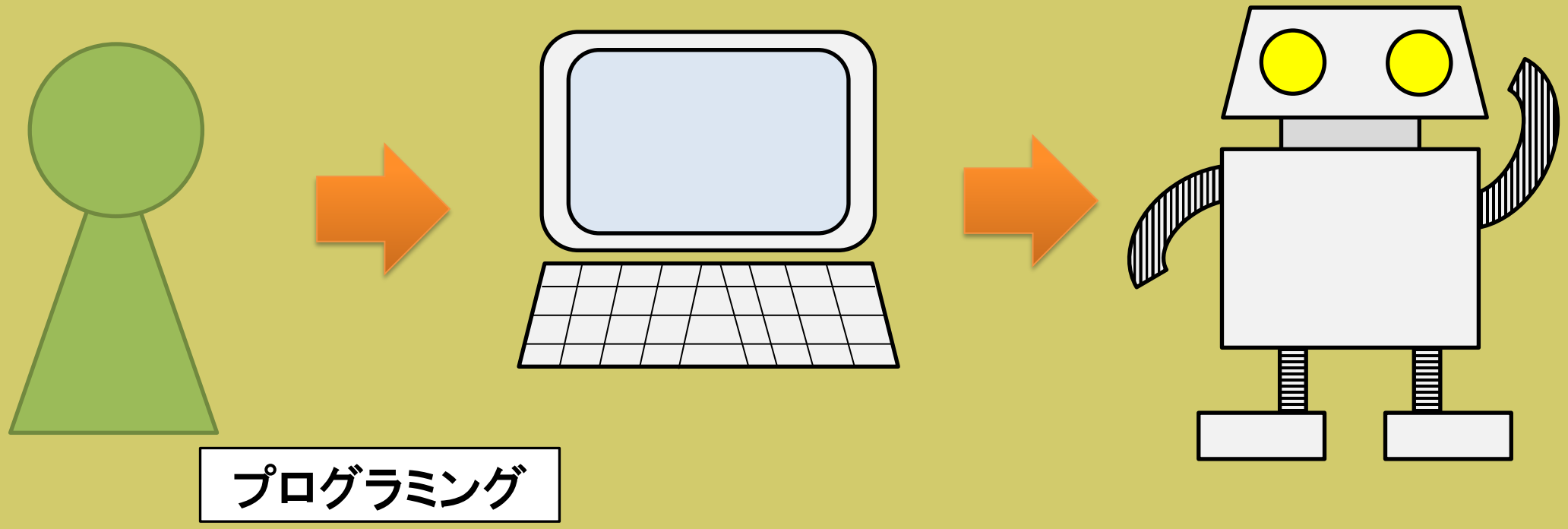
［出会いは、宝］

【特色】ICTを活用した授業
プログラミング教育の推進

○論理的思考力・情報活用能力を育成する。
［タブレットタイム・DC教育］

プログラミングとは？

人間の意図した作業を行うようにコンピュータに指示を与えること



プログラミング教育のねらい

- 「プログラミング的思考」の育成
- プログラムの働きやよさに気付く
- コンピュータ等を上手に活用して、身近な問題を解決する
- 各教科等の学びをより確実なものとする

【保護者・地域】地域を愛し、地域に愛される学校

○地域・保護者との双方向の連携を図る。

コミュニティ・スクール

学校

学校のよさ・成果・課題などの情報
保護者・地域の願い

情報発信・意見交換

保護者・地域

シブヤ未来科

シブヤ未来科の目的

→渋谷の未来の創り手となる児童の育成

- 令和３年度よりシブヤ科として、令和５年度よりシブヤ未来科として実施。
- 渋谷についてよく知ることで渋谷シティプライド（渋谷への愛着）を育成する。
- 渋谷区のよさや課題を知り、よさの発信や課題に対する分析や方策を考える。

渋谷の課題を発見
↓
なんとかしなくては！

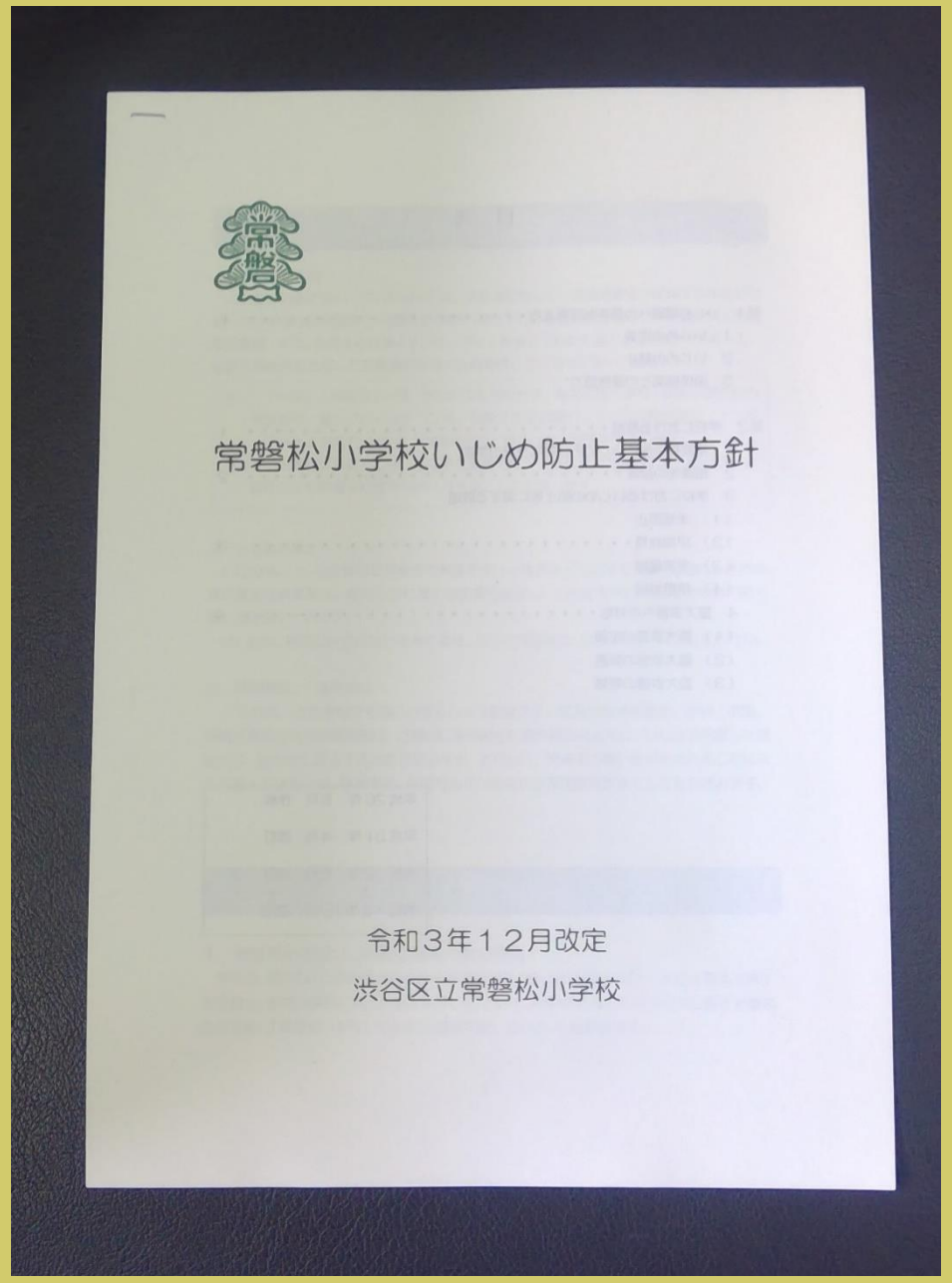
渋谷のよさを発見
↓
渋谷大好き！
みんなにも知ってほしい。

デジタルシティズンシップ教育

「デジタルシティズンシップ」
情報を正しく判断し、安全で適切に活用できる力
（情報モラル教育＋α）
→デジタル社会を築く力の育成

組織的な対応

常磐松小学校
いじめ対策
基本方針



令和４年度５年度渋谷区立研究指定校

研究教科「道徳科」
豊かな心の育成・相互理解
～道徳科の話合い活動を通して～